



# 6月 土居隣保館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2 入居イベント 10:00~	3	4
5	6	7	8	9 入居イベント 10:00~	10 6年生交流会 打ち合わせ	11
12	13 運営審議会 19:00~	14	15	16 入居イベント 10:00~	17	18
19	20	21	22	23 入居イベント 10:00~	24	25
26	27 職業相談 10:00~	28 3B体操教室 10:00~	29 土居地域 6年生交流会	30		

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更・中止となることがあります

今日は職業相談を27日に変更します。

**隣保館では、人権相談や職業相談を行っています**

悩んでいることはありませんか？

隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」

、「職場や学校に行けない」など悩みがありましたら、何でも相談してください。

また、毎月25日（原則）は、ハローワークの巡回相談（職業相談）を行っています。巡回相談は、電話による予約制となっています。

# 土居隣保館便り

令和4年

6月

発行：土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原 5-400-3 TEL/FAX 28-6356



土居隣保館は、社会福祉法に基づき地域住民のコミュニティセンターとして、

社会福祉の充実や増進を図るとともに、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の

解決を図るために設置された施設です。人とひとが交流を図り、誰もが住みよい地域

づくりの拠点として、相談事業、各種講座や学習会、貸館事業など「人権と福祉のま

ちづくり」の実現に向けて、さまざまな隣保事業に取り組んでいます。

皆様のご来館をお待ちしています！

## 身近な人権について「ことば」

50才を超えると急激に目が悪くなり、老眼鏡がないと文字がぼやけて見えにくくなっている今日この頃です。

そんな私が、先日親戚の家に行くために電車にのって移動中に、たまたま読んでいた雑誌に気になる内容が載っていました。40代の女性からの投書です。

### 「名前で呼んでほしい」

仕出し屋さんで、お惣菜や弁当を作ったりするパートを5年ほどしています。先輩パートさんから、以前は名字に「さん」づけで呼ばれていましたが、最近では「おい」と呼ばれることが多くなってきました。

これまで、さまざまな職場で働いてきましたが、ずっと「さん」づけで呼んでもらってききましたし、家族にもそんな風には呼ばれたことはありませんでした。

いくら年上の先輩でも、名前できちんと呼んでくれたほうが気持ちよく仕事ができます。

という内容です。

この企業内の人間関係・職場環境はどのようなのだろうか、パートさんの労働状況はどうなっているのか、さらには女性の立場は？と考えさせられました。

相手を呼ぶときに「おい」と呼ぶのはいかなものかと、この投書を寄せられた40代の女性の方に理解を示す人が多いのではないかと思います。

では、身近な家庭内ではどうでしょうか。子どもの書いた詩を紹介します。

「おい」

僕のお父さんは、お母さんを、「おい」と呼びます。

お母さんは、「はい」とこたえます。

僕のおとうさんは、僕のことを、「健司」と呼びます。

僕は、「はい」とこたえます。

先生が、話してくれました。

「ともだちを「おい」と呼んではいけないよ」と。

僕のお父さんは、なぜ、お母さんの名前をよべないのかなあ。

お父さん、おしえて。

私自身、以前家族を「おい」と呼ぶことがありました。だから、友人が家庭で奥さんに言っているのを聞いても気になりませんでした。

でも、この詩を20年前に人権・同和教育学習会で地域の人から見せられたとき、「はっ」として胸が締めつけられる思いがしました。

逆に、家族が私に向かって「おい」と言ったとしたらどうだろうかと思いを改めて考えてみた時、とても違和感がありました。

皆さん、どのように思われますか。このように言葉ひとつひとつにおいてもいろいろなことを考えることができます。

人権を身近に引き寄せながらいろいろなことを考えていきたいものです。

ちなみに、私は家族を名前できちんと呼んでいます。

主事 川上 祐志